秋田	工業高等	専門学校	開講年度	平成29年度 (2	2017年度)	授	業科目	英語Ⅲ(3 E)		
科目基礎		** *		,	,		-			
科目番号		0010			科目区分		一般 / 必	修		
授業形態		授業		単位の種別と単位	数	履修単位	: 2			
開設学科		一般教科	一般教科(人文科学系)				3			
開設期		通年			週時間数		2			
教科書/教	材	CROWN F 文庫Deep	PLUS English Series Level4 三省堂「新TOEICテストに出る順英単語」 中経出版「英作文基本300選」 ! Listening Level 2 日本英語検定協会自作プリント							
担当教員		小菅 智也								
到達目標	票									
2. 指定さ	れた文法事具	頁を用い、身		。 単文で表現すること 10語の英文で表現す						
ルーブリ	ノック				1					
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベ	ジレのE	安	未到達レベルの目安		
評価項目1			大学入試レベルの英文の内容を自 力で正確に理解できる。		辞書を使えば大学入試レベルの英文の内容を正確に理解できる。			教員の補助がないと大学入試レベルの英文の内容を正確に理解できしない。		
評価項目2	2		指定された文法 な内容について、 現することがで	事項を用い、身近 、自力で単文で表 きる。	辞書や文法書を用いれば、指定された文法事項を用い、身近な内容について単文で表現することができる。			教員の補助がないと、指定された 文法事項を用い、身近な内容について単文で表現することができない。		
評価項目3			与えられたテー の考えを80~10 することができ	マについて、自分 00語の英文で表現 る。			1分の考え			
学科の至	到達目標項	目との関係	系							
	 法等									
での授業 関本的な (1) こ (2) 5			では、英文読解を中心に、総合的な英語力の向上を目指す。 目標は次の二点である。 「年生までに習得した文法知識をもとに、大学入試レベルの英文の内容を正確に把握できるようになる。 「検2級合格に必要な総合的な英語力を身につける。 受験2級合格に必要な総合的な英語力を身につける。 受験はおおむね次の流れで行われる(学生の理解度により、進度・内容・時間配分は変更されることがある)。							
授業の進め方・方法		容 (2) (3) 現 (3) 現 (5) 試場 以%である。 こ です の にす の にま に 験合も に で で が で が で が で が で が で が で が で が で が	とともに、基礎的な英文のインブットを行い、英文読解力や英作文能力の向上を目指す。また、次の(2),(3)で扱う内容を小テストの範囲として含める場合もある。これにより、新出の表現や文法事項の定着を図る。 (2) 次のa, b の内容を隔週で行う予定。(15~30分程度) a. 速読の練習 英検準2級~2級程度の長文の問題を用い、英文をより速く読む訓練を行う。 b. リスニング・スピーキングの練習 Deep Listening 2のシャドーイングを行うことで、リスニング能力とスピーキング能力の向上を図る。この他に、英検2級2次試験形式の応答の訓練をペアワークで行うことも予定している。 (3) 精読の練習(50~70分) 教科書の内容を精読する。予習を前提とし、本文の内容について、教員が学生に質問をする。特に重要と思われる表現や文法事項 については、教員が解説を行う。また、章末問題や自制ブリントで、本文で扱った表現・文法事項を定着させ、英作文への応用も行われる。これらに加え、Crowm Plus の章末問題や80~100語程度の英作文等をレポート課題として与える場合がある。 定期試験は、基本的には上記(1)~(3)で学習した内容を問う問題であるが、これらに関連した応用力を問う問題を出題する場合もある。 50点以上を合格点とする。前期末と後期末の成績は、それぞれの定期試験結果60%、授業態度、小テスト、課題の結果を40%で評価する。学年総合評価は前期末と後期末の成績の平均である。 必ず予習の上で授業に臨むこと。特に、Crown Plus の英文については、不明な語句の意味を調べた上で、本文を複数に							
授業計画	 5ī	売りず留の	D上で投業に闘むさ 翼してくること。	こと。特に、Crown	Plus の央又につい	, CIT.	一一の一	可の息味を調べた上で、本乂を複数		
以未可但	<u> </u>	週				調ブレ	の到達日類			
前期	1stQ		^{又乗り合} 受業ガイダンス	週ごとの到達目標 授業の進め方と評価の			^素 評価の仕方について説明する。			
		1週	で乗りイタン人 esson2				12の英文	ての構造を理解し、内容を正確に読み耳		
		2週 L	esson2				n 2 の英文(ができる。	構造を理解し、内容を正確に読み		
		3週 L	esson2	sson2			n 2 の英文の ができる。)構造を理解し、内容を正確に読み即		
		4週 L	_esson2	sson2		Lessor)構造を理解し、内容を正確に読み即		
		5週 L	_esson2		!	Lesson 2 の英文の構造を理解し、内容を正確に読ることができる。				
		6週 L	Lesson2		l	Lesson 2 の英文の構造を理解し、内容を正確 ることができる。				
		7週 L	esson2		!	Lesson 2の英文の構造を理解し、内容を正確に読る ることができる。				
		z		h朗)						

上記項目について学習した内容の理解度を確認する。

到達度試験(前期中間)

8週

			=±EA	<i>ልክሎ</i> ት			前期邯		 解答			
		9週	試験の解説と解答					前期期末試験の解説と解答				
	2ndQ		Lesson4					Lesson4の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		10週	Lesson4					Lesson4の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		11週	Lesson4					Lesson4の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		12週	Lesson4					Lesson4の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		13週	Lesson4					Lesson4の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		14週	Lesson4					Lesson4の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		15週	到達度試験(前期期末)				上記項	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
		16週	試験の解説と解答				前期中	前期中間試験の解説と解答、および授業アンケート				
		1週	Lesson6	Lesson6				Lesson6の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		2週	Lesson6					Lesson6の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		3週	Lesson6					Lesson6の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
	3.40	4週	Lesson6					Lesson6の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
	3rdQ	5週	Lesson6					Lesson6の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		6週	Lesson6					Lesson6の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		7週	Lesson6					Lesson6の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		8週	到達度試験(到達度試験(後期中間)				上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
後期 			試験の解説と解答					後期中間試験の解説と解答				
		9週	Lesson8					Lesson8の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		10週	Lesson8					Lesson8の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		11週	Lesson8					Lesson8の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
	4thQ	12週	Lesson8	Lesson8				Lesson8の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		13週	Lesson8					Lesson8の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		14週	Lesson8	Lesson8				Lesson8の英文の構造を理解し、内容を正確に読み取ることができる。				
		15週	到達度試験 (後期期末)				上記項	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
		16週	試験の解説と解答					後期期末試験の解説と解答、および授業アンケート				
モデルニ	1アカリ=	キュラム	の学習内容と	到達目標								
分類		分野	学習内容	容 学習内容	の到達目標				到達レ/	ベル 授業週		
評価割合	<u> </u>							T				
	試験		発表	相互評価	態度	小テス	スト	ポートフォリ オ	その他	合計		
総合評価割	割合 60		0	0	10	20		0	10	100		
基礎的能力	b 40		0	0	10	20		0	10	80		
専門的能力	ל o		0	0	0	0		0	0	0		
分野横断的 力	^{勺能} 20		0	0	0	0		0	0	20		
	1		L	_1		I		L	L	1		